

福生市議会議長
村 尾 栄 次 殿

昭和六十二年十二月十四日
田中六十一郎十一郎十や四

議案第二百一十一号

国民健康保険制度の改革案に対する決議

右の議案を提出する。

昭和六十二年十二月十四日

福生市議会議長
村 尾 栄 次 殿

提出者	賛成者	井	東	南	小
齋	須	上	田	木	野
藤	釜	寅	正	繁	沢
	亮	吉	治	男	久
巽	次				

国民健康保険制度の改革案に対する決議

第八回国民健康保険問題懇談会において、厚生省から提出された「国民健康保険制度の課題と改革の基本的な考え方」は、退職者医療制度の創設等による国の見込み違い、約一千億円の未措置額を放置し、六十三年度予算編成のつじつまを合わせるための、単なる地方への負担転嫁に過ぎないものであり、次の理由により反対するものである。

- 一 福祉医療制度の創設は、低所得者の負担と給付の改善が見られず、単に低所得者層を分離し、地方に負担を転嫁するものである。
- 二 地域差調整システムの導入は、医療費の適正化の有効な手段や権限のない地方自治体に、国の負担を転嫁するものであり、国の医療保険行政に対する責任を放棄するものである。
- 三 老人保健医療費拠出金の見直しは、単なる国庫負担率の引き下げであり、地方への負担転嫁に過ぎない。

国民健康保険制度の安定的運営を確保するため、医療費の適正化を強力に推進するとと

もに、今後医療保険制度の一元化の中で、幅広く基本的な検討を強く要望するものである。

右決議する。

昭和六十二年十二月十四日

福生市議会

議案第二百二十二号

地価高騰に伴う税制措置に関する意見書

右の議案を提出する。

昭和六十二年十二月十四日

提出者	仲村清信
賛成者	指田保雄
"	小野沢久
"	遠藤洋一
"	松山清

福生市議会議長

村尾栄次殿

地価高騰に伴う税制措置に関する意見書

最近における大都市及びその周辺における地価の異常な高騰は、わが国の大きな社会問題となり、国民生活や経済活動における借地借家等の価格にも、直接影響を及ぼしているとともに、国民に直接関係する相続税や固定資産税にも影響を及ぼしている現状である。よつて国民のためにも、これらの評価額の据え置き等の税制面における救済措置を、緊急に講ぜられるよう強く要望する。

以上、地方自治法第九十九条第二項の規定により、意見書を提出する。

昭和六十二年十二月十四日

福生市議会議長

村 尾 栄 次

内閣総理大臣

大蔵大臣 殿

自治大臣

大 陸 軍 大 臣
陸 軍 省 大 臣
海 軍 省 大 臣
陸 軍 省 大 臣

陸 軍 省 大 臣

陸 軍 省 大 臣

陸 軍 省 大 臣

陸 軍 省 大 臣

陳情第六十二—二十一号

三宅島米空母艦載機夜間離着陸訓練基地建設計画に関する陳情書

(表紙)

(要旨)

一九八三年十二月二十一日、三宅村議会は私たち住民に何らの相談もなく「米空母艦載機夜間離着陸訓練基地」を含みとした「三宅島官民共用空港誘致の意見書」を一方的に採決し、政府及び防衛庁に提出したことから始まり、去る九月一日には建設の一步となる気象観測柱を機動隊の導入をし、強行に設置してしまつたのであります。

三宅島は東京より南南東百八十五キロの太平洋上に位置し、黒潮海流の影響を受け冬季でも温暖なため避寒の地として、また夏季には太平洋の清透な海に恵まれ、全国の皆さんや東京都民の憩いの島として重要な役割をしております。

三宅島は国内ではすでに見ることのできない多様な自然景観や学術的にも貴重な野生動植物が見られ、自然保護団体や、地震学会、地質学会、火山学会等も反対決議をしております。また国際的な自然保護団体、平和団体まで波及しております。

私たち、四千島民は昔から静かで豊かな自然を愛し、それを礎に生活を営んで来ております。特に基地建設予定地は穀倉地帯であり、地域住民生活の地であります。これをとられることは手足をもぎとられるようなものです。米空母艦載機夜間離着陸訓練基地を建設することは私たち住民の生活を根底から破壊するものであります。

私たち大多数（八五パーセント）の住民は再三再四にわたる反対決議や反対署名等で断固反対の態度を明確にしていりました。加えて昭和五十九年二月の村議選、十一月の村長選以来、行政、議会、住民の三者が一体となつて「NLP基地建設計画」に断固反対しております。

基地を強行に建設することは、地方自治の自治権をも無視するものであります。またそれに加え伊豆小笠原諸島観光のイメージダウンとなるとともに、わが国三大漁場の一つを抱えた多くの漁民は生活の場である漁場を失うことにもなります。しかも騒音や振動により噴火予知観測体制に大きな支障となることは明確であります。

貴職におかれましては、私たち住民が安心して住める島、静かで平和な明るい村で生活ができるよう「三宅島NLP基地建設計画」に反対決議をされ国に対し意見書の提出をされるよう陳情申し上げます。

昭和六十二年十二月九日

陳情者

三宅島三宅村坪田一七七四番地

三宅村議會議員反対同盟

代表 持丸 教能

福生市議會議長

村尾 栄次 殿

陳情第六十二―二十二号

病床規制に反対、保健・医療・福祉の

総合的な医療計画策定についての陳情書

東京都により医療計画の作成が進められていますが、必要病床数を定める二次医療圏が、広い圏域にされますと、神奈川県医療計画の例が示すように、今後、病床を増やすことが認められませんから、地域の保健医療福祉の将来計画に、重大な影響を及ぼすこととなります。

医療計画は、区市町村の意見を聞いた上で、都医療審議会に諮られることとなりますが、素案が固まつた段階での修正は、きわめて困難であると考えられます。つきましては、下記について早急に善処されたくお願い申し上げます。

記

一 二次医療圏については、病床の規制だけを目的とした機械的な圏域設定に反対していただきたい。

計画の任意記載事項には、総合的な保健・医療・福祉サービスについて、充実した計画を盛り込むことを、東京都知事に要望していただきたい。

二 東京都医療審議会に、労働者を代表する委員を補充するよう、東京都知事に要望していただきたい。

三 医療計画に住民の意見を反映させるため、計画案の一般公開、住民対話を行うなど、民主的な手続を踏んでいただきたい。

昭和六十二年十二月九日

陳情者

福生市熊川七三八番地

西村 秀吉 印

福生市議会議長

村尾 栄次 殿

陳情書の取り下げ願について

昭和六十二年二月二十三日付で提出いたしました「生活協同組合運動発展のための意見書提出に関する陳情書」は、都合により取り下げたいと思いますので、よろしくお取り計らいくださるようお願い申し上げます。

昭和六十二年三月十三日

陳情者代表

福生市志茂一二六

生活協同組合都民生協

片岡久子 印

福生市加美平一―一三一―

西多摩生協理事

深瀬正史 印

福生市議会議長

森田治男 殿

第10次道路整備五箇年計画策定の背景

本会議資料
昭62.12.14

我が国の道路整備は9次にわたる五箇年計画を積み重ね着実な進展をみているが、道路整備を上回る道路交通の進展のため整備の遅れが顕著になってきている。国土全体の長期的発展基盤の形成、地域社会の活性化、内需主導型の産業構造への転換などを進め、21世紀における我が国の経済社会の活力の保持と国民生活の向上を図るため、以下の要請に的確に応えつつ、緊急かつ計画的な道路整備を推進する必要がある。

(1) 多極分散型国土の形成、地域社会の活性化への対応

第4次全国総合開発計画等との整合を図り、多極分散型国土の形成、地域社会の活性化を促すとともに、内需主導型の産業構造への転換に資するため、高規格幹線道路を始めとする幹線道路ネットワークの整備、地域振興プロジェクトを支援する道路の整備等を推進する必要がある。

(2) 進展するくるま社会と道路整備の立遅れへの対応

今日、我が国は本格的なくるま社会の到来を迎え、自動車は経済活動、日常生活において必要不可欠な交通機関となっているが、道路整備がこれに追いつけず立遅れが顕著となっている。

このため、今後の国民生活に重大な支障を生じないよう、都市においては慢性的な交通渋滞の解消、地方においては生活圏の広域化のための円滑なモビリティの確保等に緊急に対応する必要がある。

(3) 社会・経済の変化、ニーズの多様化への対応

社会・経済の変化、多様化する国民のニーズに対応した道路づくりを進めるために、交通安全の確保、快適で親しみのある道路空間の創出、新しいニーズに対応した道路情報の提供、道路の立体的利用による道路機能の向上等の要請に的確に対応するとともに、道路資産の適切な保全を図る必要がある。